

施設名	オランダ坂周辺の石畳、石溝								
所在地	長崎県 長崎市								
管理者等	長崎市								
施設種類・分野	道路			道路					
施設概要 (明治期との関連含む)	<p>長崎の出島は江戸の鎖国時代、唯一海外に開かれた窓口でした。そして、明治初期に外国人居留地として造られたのが東山手、南山手でした。そこに向かう途中の坂道が「オランダ坂」です。かつて長崎では外国人のことを「オランダさん」と呼び、外国人居留地にある石畳の坂を人々は「オランダ坂」と呼んでいました。現在は東山手にある活水女子学院寮へ続く坂が「オランダ坂」としてもっとも有名で、長崎を代表する観光スポットのひとつとして多くの人が訪れています。(参考文献より引用)</p>								
	  <p style="text-align: right;">参考文献より引用</p>								
築造時期	明治初期			時期詳細	明治10年以前				
関連人物	-								
関連企業	-								
トピックス (特徴的エピソード)	-								
歴史的な遺産等の指定の有無等	-	選奨土木遺産 (土木学会)	-	文化財 (文化庁)	-	近代化産業遺産 (経産省)	-	世界遺産 (ユネスコ)	-
その他 (関連資料、文献)	九州地域づくり協会資料HP http://dobokuisan.qscpua2.com/								
管理者等のHP (URL等)	-								